

## はだのスポーツビレッジ構想

広域・公民連携による  
「スポーツ」を通じた地域活性化と  
「ウエルネス」な環境づくりへの挑戦  
～**渋沢丘陵**を**スポーツの里**へ～



## 広域・公民連携による「スポーツ」を通じた地域活性化と「ウエルネス」な環境づくりへの挑戦～渋沢丘陵をスポーツの里へ～

### 1 はだのスポーツビレッジとは

渋沢丘陵一帯は、本市、中井町、大井町及び松田町の1市3町の境界にある丘陵地域ですが、様々な地域資源があるにもかかわらず、エリアのポテンシャルが発揮されていない状況にあります。

本市では「渋沢丘陵利活用方針」を策定し、地域特性や資源を生かした新たな価値創出などの取組みを進め、また、本市と「スポーツによる元気で健康な地域づくり包括連携協定」を締結している特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブ（以下「湘南BSC」という。）では渋沢丘陵の地域資源を生かしたスポーツツーリズムの取組みを進めています。

そのような中、湘南BSCからの申し出により、本市と連携して、渋沢丘陵一帯の魅力を引き出し、地域活性化につなげていくための拠点として、「はだのスポーツビレッジ」の整備の検討を行い、渋沢丘陵一帯の広域・公民連携による「スポーツ」を通じた地域活性化と「ウエルネス」な環境づくりの実現に向けた取組みを進めるものです。

### 2 渋沢丘陵一帯のエリア

渋沢丘陵一帯には、次のような様々な地域資源や拠点が点在します。

- ・「震生湖」、「頭高山」、「栃窪スポーツ広場」（秦野市域）
- ・「中井中央公園」、「湘南オリーブ園」、「MTBコース」（中井町域）
- ・「サーフビレッジ ラ・レイエス」、「未病バレービオトピア」（大井町域）

また、エリア内は、魅力あふれるハイキングコースが多くあるほか、アップダウンが多くサイクルスポーツには適した地形です。中井町には自転車の有名メーカーもあり、自転車との親和性に優れた土地柄といえます。



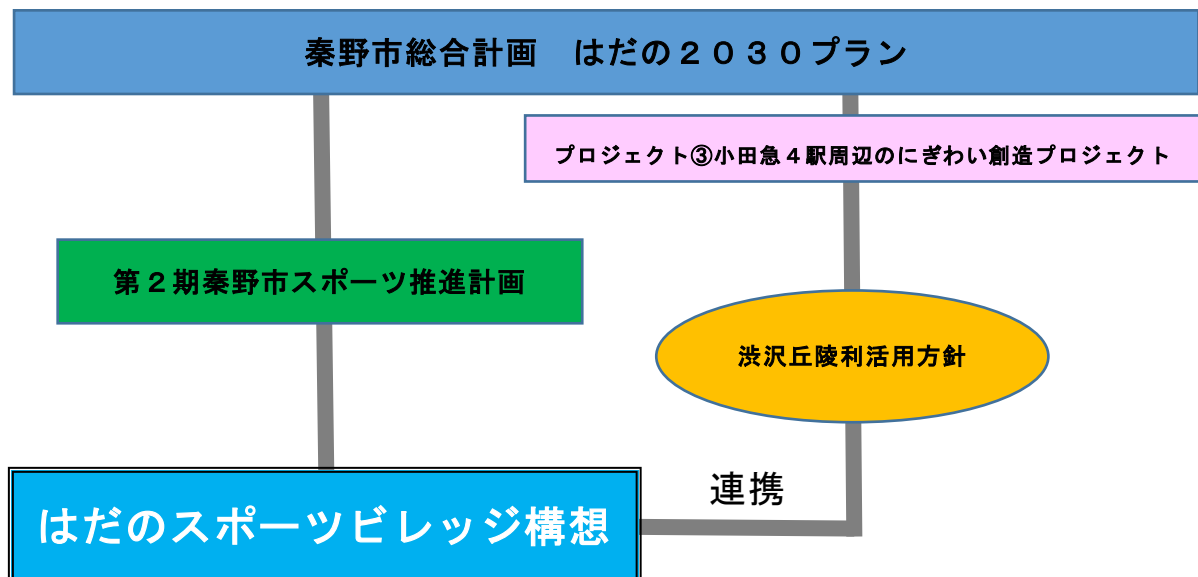
さらに、国道246号バイパスの（仮称）渋沢IC整備予定地もあり、将来的にはアクセス性の向上も見込まれるエリアです。

### 3 渋沢丘陵一帯の活性化に向けた広域・公民連携コーディネーター

渋沢丘陵一帯は、市町境に位置することや、公共・民間の施設が混在していることから、これらを有機的に連携させ、さらなる魅力を引き出すためのコーディネーターには、スポーツや健康に関するノウハウを持ち、非営利活動を行う団体が適しており、総合型地域スポーツクラブである湘南BSCは、渋沢丘陵一帯の活性化に向けた広域・公民連携コーディネーターとして最適といえます。

※1 総合型地域スポーツクラブは、人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。  
それぞれの地域において、スポーツの振興やスポーツを通じた地域づくりなどに向けた多様な活動を展開し、地域スポーツの担い手としての役割や地域コミュニティの核としての役割を果たしています。

### 4 はだのスポーツビレッジ構想の位置付け



「秦野市総合計画・はだの2030プラン」では、「多目的グラウンドであるスポーツ広場のあり方（パークゴルフ場等としての利用を含む。）の検討を進め、羽根地内や渋沢丘陵周辺などでの適地の調査、整備を検討します」としています。

また、「第2期秦野市スポーツ推進計画」においては、「地域の活性化にもつながる、多目的グラウンド（パークゴルフ場等を含む）の整備を検討します。」としており、これらの上位計画に基づく取組みとして、「はだのスポーツビレッジ」の整備を進めます。

また、「はだのスポーツビレッジ」の利活用に当たっては、「秦野市総合計画はだの2030プラン」の「小田急4駅周辺のにぎわいプロジェクト」や

「渋沢丘陵利活用方針」等と連携し、渋沢丘陵一帯の地域活性化や、にぎわいに資する取組みを進めます。

## 5 「はだのスポーツビレッジ」整備に向けた基本的な考え方

- 公民連携手法の活用及び民間活力の導入による整備・運営とし、市民をはじめ多くの人が集い、交流し、楽しめる施設とします。
- スポーツの持つ力を最大限発揮できる拠点とし、「スポーツ」を通じた地域活性化と「ウェルネス」な環境づくりを進める拠点とします。
- サイクルスポーツの普及やスポーツツーリズムの推進のための拠点とし、渋沢丘陵一帯を「スポーツの里」として楽しめる地域とします。

## 6 「はだのスポーツビレッジ」の基本的な機能

- 市民がスポーツを楽しめる場を提供することにより、本市のスポーツ環境を一層充実させます。
- 「スポーツによる元気で健康な地域づくり包括連携協定」を締結した湘南BSCほか民間が持つノウハウを活用したスポーツプログラムや教室事業を展開します。
- 広域・公民連携による渋沢丘陵一帯の地域資源や施設を活用した大会の開催や、サイクルスポーツ、スポーツツーリズムの拠点とします。
- スポーツの持つ力を最大限発揮させ、地域活性化や、にぎわいの拠点とします。



## 7 「はだのスポーツビレッジ」の概要及びイメージ

(1) 地番

平沢 2408-1、-2 ほか

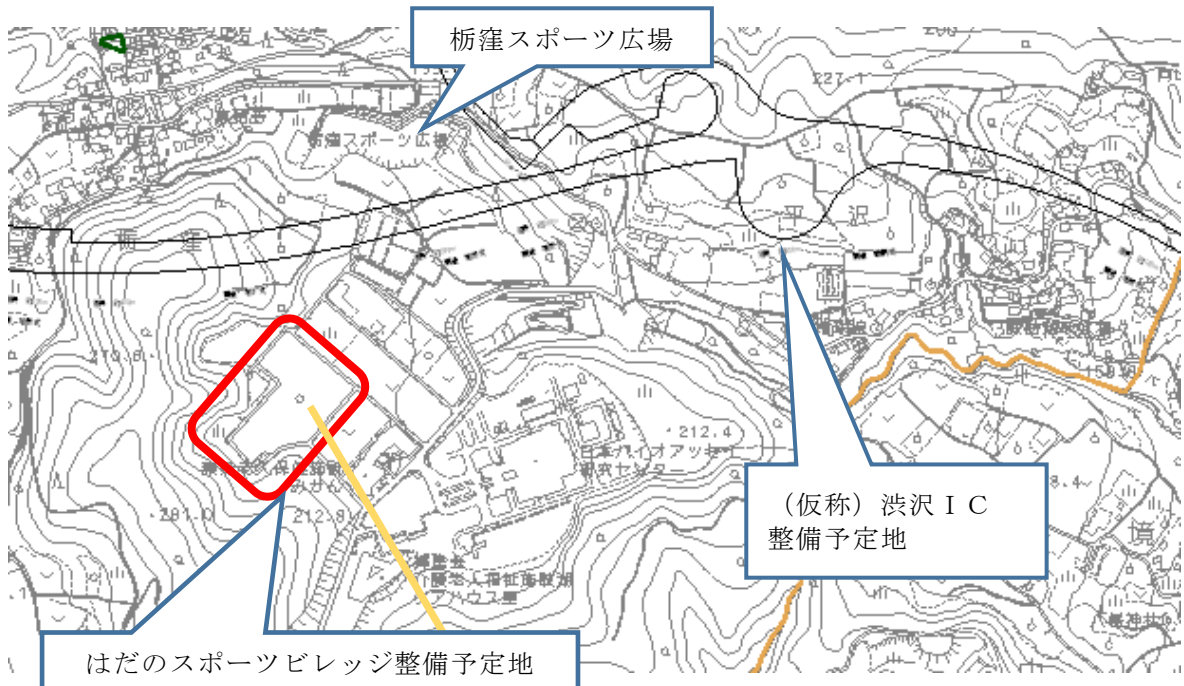
(2) 面積

約 15,000 m<sup>2</sup>

(3) 施設

天然芝グラウンド (サッカー利用を中心とした多目的グラウンド)、パークゴルフ場 (9ホール)、ビーチバレーコート、管理棟ほか

### ○位置図





## 8 農業振興地域の整備に関する法律上の課題の整理

整備予定地は農振法に基づく農用地区域に指定されていますが、本市では総合計画において、スポーツ広場整備の検討を位置付けているとともに、農用地の集団性、栽培環境、用排水（農業用施設）などへの影響もないと認められることから、同法第15条の2第1項の規定に基づき、「地方公共団体が地域振興上必要性が高いと認められる施設」として整備に向けた調整を行います。

## 9 はだのスポーツビレッジの事業フレーム

はだのスポーツビレッジの整備については、「はだのスポーツビレッジ整備に向けた基本合意」に基づき、今後、次の基本的な方針のもと、詳細な基本計画の策定及び基本協定の締結に向けて検討・調整を行います。

- 「はだのスポーツビレッジ」は、「負担付き寄附」及び「企業版ふるさと納税」の手法を組み合わせた公民連携手法により進めます。民間が土地及び施設を本市に寄附。寄附者が指定する者により長期間、管理運営を行います。
- 整備資金については、湘南BSCを主体とした構成団体が独自の資金調達により整備するとともに、企業版ふるさと納税制度を活用することとします。
- 秦野市の役割・支援として、一般的な期間を超えた長期の指定管理者の指定、企業版ふるさと納税制度の適用支援、周辺のインフラ整備を行います。